

我が家の消防計画チェック表

区分		チェック項目	チェック
火災の予防に関すること	放火 平成15年中出火原因 1位 (2,340件)	家の周りに燃えやすいものは置かない。	
		ゴミは決められた日に出している。	
		自動車、オートバイのボディーカバーは防災品を使用している。	
	たばこ 2位 (905件)	寝たばこは絶対にしない。	
		灰皿には水を入れて使用している。	
		たばこの吸い殻は水で完全に消してから捨てる。	
	ガステーブル等 3位 (612件)	調理中はその場を離れない。	
		近くに燃えやすいものは置かない。	
		エプロンなどは防災品を使用している。	
	過熱防止装置付の器具を使用している。		
火災の早期発見のために	住宅用火災警報器を設置している。		
火災発生時の行動に関すること	通 報	火災を周囲に知らせることができる。 (大声を出す・住宅用火災警報器・非常ベルなど)	
		次のような、119番通報の要領を知っている。 <ul style="list-style-type: none"> 1 災害種別(火事・救急・救助など) 2 状況(台所が燃えている。交通事故で足を骨折した。など) 3 場所(住所・目標・電話) 	
		自宅の住所・電話・目標などを電話の近くに表示している。 気が動転すると思い出せなくなることがあります。	
	初期消火	消火手段を常に用意している。 (消火器・水バケツ・風呂の溜め水など)	
		消火器で消火できる自信がある。	
		天井に火が届くような場合は、すぐに避難しましょう。	
	避 難	避難経路は2方向以上確保している。	
		階段・廊下には物を置かない。	
		一旦避難したら、家の中に戻るのはやめましょう。	
	訓練等	消防署や町会が実施する防災訓練などに参加している。	
家族で災害発生時の対応を話し合っている。			
協力体制	近隣の方と災害時に協力する体制がある。		

チェック表が全て となるように努めましょう。

(注)・表中の火災件数は概数です。

・「防災品」とはエプロンや家具などで、火が接触しても燃えあがらないような素材で作られたもの、又は燃えにくいように加工された製品です。

住宅用火災警報器を備えましょう！

火災による死者の発生は発見の遅れが主な原因と考えられています。

火災の早期発見に極めて有効な「住宅用火災警報器」を設置しましょう。

